

極めてゆゆしき事態

大阪文工連総会 会社の安定的発展に尽力を



諸議案を慎重審議する阪文工連総会

社中、出席27社、委任状9社、特別会員12社中10社の出席で総会が成立すること報告したあと、西村理事長が多数の出席を感謝しながら「現在、日本全体が中東情勢の緊迫化による危機に見舞われており、ホルムズ海峡の封鎖によって石油やナフサ、ポリエチレン等の化学製品の供給がストップしかねない極めてゆゆしき事態にある。国内には200日強の国家備蓄があるものの、石油製品の値上がりにより、5月以降はあらゆる原材料の価格高騰が予想され、秋以降の商戦に向けては再び価格改定を検討せざるを得ない状況が続くと思われる。足元の文具市場は3月まで例年プラスアルファ程度の堅調な動きを見せ、米國などの海外市場も力強さがあるが、依然として株価や情勢は予断を許さない。組合員各位には、原材料の



一般社団法人大阪文具工業連盟(西村貞一理事長)の第15回定時社員総会が、3月25日午後4時半から大阪市北区の帝國ホテル大阪で開催、上程諸議案を全て原案通り承認可決した。当日は、橋本章男専務理事の司会で進め、正会員36

企業活動の中心地に

呼称は「KOKUYO HQ」

ココヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、90年ぶりに5月1日付で、大阪市北区のグラングリーン大阪パークタワー14階に移転する大阪の呼称を「KOKUYO HQ(スタジオO+A(スタジオオープラスエー))」と決めた。6月よりグローバルヘッドクォーター(グローバル)にまたがる企業活動の中心地として営業開始する。空間デザインのコンセプトは「Promenade of Discover(発見の散歩道)」。同社新本社の呼称は「KOKUYO HQ」と米国建築設計事務所

「Studio O+A(スタジオオープラスエー)」が対話を重ねながら形づくったこのコンセプトは、社員や来訪者が歩き、見て触れ、考えることで新しい発見に気づくオフィスを目指すもの。中央に伸びる通路を軸に、活気あるエリア、静かな思索の空間、自然を感じるゾーンなど、異なる体験が連続する構成としている。さらに、新本社はココヨの思想や文化を未来へ継承するための「ライフオフィス」として、働く場であると同時に、学びや実験が生まれる場として、ニーズや志向を反映したさまざまなワークスタイルを取り入れている。また、光や緑、質感のある素材を積極的に取り入れることで、創造性とウェルビーイングを高める環境を実現する。



ココヨ新本社のエントランスの内装イメージ

3月28日に開業したJR大井町駅直結の複合施設「TRACKS PARK」での記念撮影

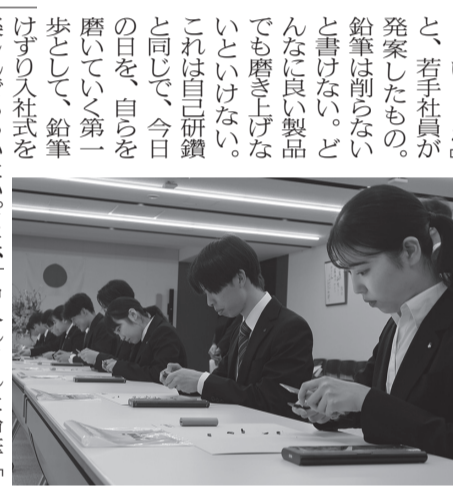


ハート株式会社

人から人へ心を伝える ハート紙製品
名称・封筒・はがき・カード・資料・カレンダー・環境対応製品

鉛筆けずり入社式

○…三菱鉛筆…○ 複合施設とのコラボ企画も



鉛筆けずりに挑戦する新入社員たち

三菱鉛筆株式会社(教原滋彦社長、東京都)は、4月1日、東京都品川区の本社で、新入社員26人(男性17人、女性9人)を迎え、第19回「鉛筆けずり入社式」を開催した。数原社長は「この鉛筆けずり入社式は、三菱鉛筆50周年の記念企画で、『当社らしいこと』を、若手社員が発案したもの。鉛筆は削らないと書けない。どんなに良い製品でも磨き上げないといけない。これは自己研鑽と同じで、今日の日を、自らを磨いていく。第一歩として、鉛筆けずり入社式を楽しんでほしい。また、当社は今年創業140周年を迎え、記念すべき入社式を迎え、記念すべき入社式ともいえる」と挨拶。続いて、新入社員の鉛筆けずりチャレンジに移り、「2026.4.1 Welcome to Mitsubishi Pencil」と

名入れされた鉛筆「uni(ユニ)」が新入社員に1人1本ずつ配られた。小刀を初めて扱う新入社員も多く、先輩社員からレクチャーを受けながら小刀で鉛筆削りを進めた。削り終えた後、先輩社員より新入社員へ応援メッセージが贈られた。その後、JR東日本グループが浜松町駅から大井町駅で展開する「広域品川圏」の共創まちづくり「O



IMACHI TRACKS(3月28日に始動)との記念コラボ企画として、JR大井町駅直結の大型複合施設「TRACKS PARK」に就任した。続いて、令和8年度事業計画案と同収支予算案を橋本専務理事が前年度を踏襲した内容を発表して、承認可決、梶田安彦副理事長の閉会の辞で閉じた。

小憩後、懇親会を行い、親睦委員会・徳山太委員長と同・木村栄一副委員長が司会して進め、梶田副理事長の開会挨拶、来賓挨拶を紙製品新聞社・田淵法夫代表、乾杯の音頭を水谷豊副理事長が行って開宴、賑やかに歓談して親睦を深め、田中宏和副理事長の閉会の辞で閉じた。

期末理事会開く ○…大紙工
大阪紙製品工業会・黒田章裕会長の期末理事会は、3月27日午後3時30分から大阪市中央区の文健会館会議室で開催した。当日は、黒田会長が「本日、ココヨの株主総会を無事終えることが出来たが、最近の上場会社の株主総会では、株主からROE(自己資本利益率)に対する企業の取り組みなどについての質問が寄せられる傾向が強い」と説明しながら、1年間の会連営への協力を感謝する挨拶を行った。この後、4月14日に開催する定時総会の議案書の検討はじめ、全紙工の常任理事会及び期末理事会、文紙MESSE2026の進捗報告や今後の行事予定などが発表された。



uni-ball One 3